

事業報告書（令和7年度）

事業名 地域を活かす農表と食の安全～子どもたちの食を守る

団体名 おかやまエコマインドネットワーク 担当者名 播本 博子

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、講師、参加対象者、人数、内容等）
日時：令和7年12月7日（日）10:00～12:00 場所：岡山市立西大寺公民館 第一講座室、調理 講師：農業生産法人 ワッカファーム代表 佐々木 竜也 氏 参加対象者：親子または大人 33人（内訳 大人23・子ども10） 内容：①映画鑑賞「希望の給食—食と農がつぐむ自治と民主主義」 監督・撮影・編集：香月正夫（株式会社セミコ） 制作：特定非営利活動法人 アジア太平洋資料センター（PARC）2022年日本語 日本では千葉県いすみ市、長野県松川町、東京都武蔵野市、韓国では京畿道ファソンの自治体の取り組み事例の取材を通して地域の未来を形作る給食の在り方を考える。 近年、給食への地産農産物や有機農産物の導入が注目を集めていることの情報を得た。 ②（大人）講演会「野菜本来の生命力を活かす！持続可能な農業」 講師による話でオーガニック栽培をはじめとする農業人口の減少が近年大きいとのこと。自然農法の中で種にも注目して栽培をしているので手間がかかる。そんな中、瀬戸内市内で給食の地産地消を考えたプロジェクトを行政とともに進めていることを聞いた。 ③（子ども）ワークショップ 野菜で簡単クッキング 講師からの提供のあった食材を利用して、さつまいもの蒸しパン料理、スープなどを料理 ④参加者全員で講師からの提供の有機無農薬野菜を茹でる、スープにと素材を味わった。
2. ESDの視点
① 事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか 給食を通じて子どもの食を守る、そして地産地消で地域の農業を守るというテーマで取り組んだ。若い世代の参加者からは自分たちの居住区の地元で給食の地産地消の取り組みを進めてみたい、講師の話から有機無農薬について本質を知らなかった、今後学習を進めていきたい。食の安全について政策をすすめてほしい、一人ひとりの声が大事だと知った。食に関して意識や行動の変容につながった。
② どのように学び合いを取り入れたか 事後のアンケートから、同じ学区の親同士のつながりでキーワードとなった「給食」「地産地消」「子どもの食の安全」を考えてみたいとの声が多くあった。子どものワークショップや試食を通して味覚で食について考えてみる、学び合いにつながった。
③ どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか

②同様

「希望の給食」の映画と講師の佐々木氏が取り組んでいる給食の地産地消の話が学びと実践を結びつける工夫となり、大人の参加者からは講師の瀬戸内市の取り組みを、身近に感じてぜひとも次のステージにつながる深掘した話が聞きたい、との意見があった。

3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）

岡山市西大寺公民館との共催事業として公民館だよりへの掲載や集客、託児、当日スタッフ等の支援をいただき地元の親子参加があり共催での企画に意義があった。

生産者（佐々木氏）の話聞くことで農業の厳しさを知るとともに生産者の生業に触れることができ農業生産者への共感につながった。農業や食を「給食」をキーワードに考えることができ、参加者の意識の変化がうかがえた。

（アンケート抜粋）

映画を観て・・・有機野菜を地域で作りを学校子どもたちが給食で食べる、顔の見える生産者でおいしく食べることができ地域自体も盛り上がる、とても素晴らしいと思った。講師の話聞いて・・・農家の方はたくさんの勉強をされて自然と闘い地域の再興まで考えて活動をされていることを知った。今後何が食べられるかちょっと不安になります。

4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）

この事業を通して、若い世代の方が食の安全に気づく人が増えることを期待します。しかしながら参加者意見から「企業団体は社会のニーズによって動いているので、子どもの食は親の責任であるとともに一体となって動かなければいけない」とあるように社会ニーズを一人一人の声で変革、変容していくことが持続可能な農業であり持続可能な社会づくりであると考えます。岡山地域は農業、漁業が盛んな地域性といえます。食料自給率や食品ロスの課題はいまだ継続しています。

今後も「食」「地産地消」の取り組みを地道に継続していくことが持続可能な社会づくりに貢献することにつながると考えます。



映画鑑賞の様子↑



佐々木氏の講和↑



ワッカファームの野菜↑



子どもクッキングの様子↑



↑ 試食の様子



↑